

平成13年度

決算を認定

議会の意見

九月二七日の定例会に上程された平成一三年度町田市一般会計・各特別会計決算は、同日設置した、一〇人で構成する「決算特別委員会」に付託し、審査を行いました。

そして、一〇月二八日の第二回臨時会の本会議において審査結果を委員長が報告し、委員長報告のとおり、意見を付して認定しました。

平成一三年度(二〇〇一年度)町田市一般会計各特別会計決算は、歳入総額二、〇五四億一、八五七万円に対し、歳出総額二、〇一〇億六、八四四万円、形式収支は四三億五、一七三万円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財

源を差し引いた実質収支においても四一億六七万円の黒字になっている。

まず、一般会計において

は、歳入は一、二一八億三、七九五万円の前年度に比べ三億八、八三二万円増加した。その要因としては以下の点があげられる。

市税は、臨時的な個人所得の増加による市民税の増収及び新築家屋の増加による固定資産税の増収などにより前年度に比べ約一三億円増加し、四年ぶりに前年度を上回った。また、財産収入や使用料及び手数料などの増収により決算額は増加に転じた。

歳出では、一、一九七億三、一〇五万円の前年度に比べ五億二、〇〇七万円増加した。

内訳を見ると、土木費は前年度比で約五五億円減少した

が、教育費は鶴川中学校移転新築工事や(仮称)相原・小山小学校・中学校用地購入などにより約六四億円増加した。

また、社会・経済情勢を反映して生活保護費や児童保育運営費などの扶助費及び国民健康保険事業会計、介護保険事業会計への繰出金が増加した。伸びを示し、民生費が約二億円増加した。経常収支比率は八三・一％となり、財政構造は弾力性を失いつつある。

一方、特別会計にあつては、歳入総額八三億八、〇六二万円、歳出総額八一億三、五七九万円となつており、前年度に比べ歳入で六一億九、二二二万円、歳出で六三億一、三二二万円増加した。

純計決算歳入歳出差引額は、受託水道事業会計を除

き、国民健康保険事業会計、下水道事業会計、忠生士地区画整理事業会計、駐車場事業会計、老人保健医療事業会計、鶴川駅北士地区画整理事業会計、介護保険事業会計は全て赤字であり、一般会計から一三億三、六二七万円の繰入金を受け、収支の均衡を維持している現状である。

このような状況の中、一般会計の歳入については、本年度の市税の収納率は前年度より一・一ポイント上昇して九二・八％になつており、徴収努力がうかがえる。しかし、不納欠損額は八億五、五二四万円となり、収入未済額は四億五、五四五万円に上つている。

一向に先行きの見えない景気の低迷、地価の下落など財政を取り巻く環境は一段と悪化している中で、貴重な財源

確保には、なお一層の努力を求めるとりわけ、収入未済額に対しての取り組みを強化改善されるよう求めるものである。

また、歳出においては、その執行率を見ると九八・三％となつてはいるが、不用額は一七億二、〇八一万円を生じさせている。

さらに、当初予算に計上しながら、補正予算で全額更正減したものや全額不用額としたものがある。度々指摘しているところであるが、安易な流用も見受けられる。

予算を効率的かつ有効的に執行するためには、不用額は減額補正するとともに必要な予算は早期に対応するなどの措置を要する。

今後、市税の大幅な増は依然として望めず、国・東京都との補助金も削減の方針が示さ

れているところであり、歳入の増加要素が見られないにもかかわらず、歳出においては経常経費の増加を初め、都市基盤整備、環境対策、電子自治体の基盤構築、介護保険制度を含めた高齢者福祉対策及び大地震等の災害対策等の重要課題に加え、新たに地方分権など社会変化に伴う行政需要が次々に生じてくる状況にある。

よって、三多摩地区各市の比較において財政分析上の各種指数は良好であるといえども、より一層強固な財政基盤の確立を目指し、行財政改革を積極的に進めるべきである。特に、既存の事業については、従来の慣行・慣例にとらわれず、事業の廃止・縮小・統合を初めとした事業手法等、徹底した見直しを行うとともに、スクラップ・アンド

ビルドの観点から、新規事業の実施も含め、真に行政としての市民サービスのあり方を検討すべきである。

さらに、かつてない、現下の厳しい財政状況の中、今後は費用対効果及び真に市民にとって必要であるか等の事業評価を徹底的に推進されたい。

なお、委託契約については、昨年度決算認定で委員会の意見として付したものであるが、改善の余地が見られず、特に強く喚起するものである。

委託契約については、事業委託をしても、事業そのものは行政に責任がある。しかし、行政責任はおるか、担当所管部において業務内容を全く把握していないものが見受けられた。また、業務内容の検証も行われず、積算根拠、

対象となるようにされたい。ペットのふんの放置やノリードの散歩など飼主のマナーが年々低下しているの

で、マナー教室やしつけ教室を実施されたい。

野焼きパトロールについては、さらに強化されたい。

リサイクル文化センター内の炉の総合点検及び修理等の委託業務の見直しを図り、合理的かつ公平な発注ができるよう改善されたい。

電動式生ごみ処理機購入費補助制度のさらなる活用を図られたい。

古紙等資源化物収集業務委託料は、実績に応じた予算措置を図られたい。

あきかん等散乱対策と町田駅前清掃の地域が一部重なっている。事業の見直しを検討されたい。

ボイ捨て禁止重点地域に

おける取り締まりを警察に協力を依頼し、より一層のボイ捨て抑止を図られたい。

条例・要綱の裏付けのない補助金は、廃止も含め見直されたい。

市民バス「まちっこ」は事業の見直しを図り、利便性の向上に努められたい。

中心市街地活性化事業用地買収にあつては、土地利用計画やまちづくりのビジョンを明確にし、計画的にすすめられたい。

都市計画道路3・3・7号線補償費は、事業の早期完成のため東京都に予算増額の確保を強く求められたい。

緑の基本計画の緑化推進

(次ページの先頭へ)

歳出

総括

継続して多年度にわたり同一業者と随意契約している事業が多く見られる。競争入札できるものは早期に切り替えていくべきである。

議会費

各市町村からの行政視察が、年々減少してきている。全国に町田市の魅力をアピールするため、積極的に視察を受け入れられたい。

総務費

健全な競争環境の確保のため施設管理公社の委託については、条例も含め再検討されたい。

未使用地の公有財産(普通財産)が多数あり、可能な

一般会計

歳入

市民の利便性向上のため

次の諸点については、委員会審査の際に指摘したところであるが、今後の予算編成及びその執行に当たり特に留意されたい。

旧鶴川下水処理場売却については当初の計画から大幅に遅れた。十分検証を行い、今後このようなことのないよう努められたい。